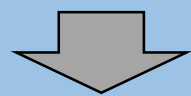


静岡市無電柱化推進計画

～ 基 本 方 針 ～

■基本方針：『防災機能の強化』を主眼とし、
『安全・安心なまち、魅力ある景観』創出に向けた無電柱化を推進



■方針1：『防災機能の強化』に寄与

- ・ 静岡市では南海トラフ巨大地震により、甚大な被害が懸念されるなか、防災機能を強化するため無電柱化整備を積極的に推進することが必要です。
- ・ さらに無電柱化の取り組みを行うことで、第3次静岡市総合計画に示される「定住化の促進」「観光交流人口の拡大」「事業継続性からの企業誘致の促進」の3つの進展が期待されます。

【整備の視点】

- ① 災害直後からの避難、救助をはじめ物資供給等の応急活動を可能とするため、緊急輸送路等の無電柱化整備を実施します。
- ② 大規模災害の際、市民、観光客の安全な避難を可能とするために、避難経路などの無電柱化整備を実施します。
- ③ 被災時の活動拠点周辺等、「防災機能の向上が必要な地域」における無電柱化整備を実施します。



■方針2：『安全・安心な歩行環境の形成』に寄与

- ・ 静岡市では、少子高齢化が進展している中、誰もが安全・安心に利用できる道路環境を確保していくためには、バリアフリー化等に資する道路の無電柱化を推進していくことが必要です。

【整備の視点】

- ① 駅周辺等、不特定多数が利用する「バリアフリー環境の形成などが必要な地域」における無電柱化整備を実施します。
- ② 集約連携型都市構造の実現に向け、不特定多数が安全に利用できる様「まちなかの賑わい空間」における無電柱化整備を実施します。
- ③ 安全・安心な通学環境を確保するため、「通学路」における無電柱化整備を実施します。



■方針3：『魅力ある景観の保全、創出』に寄与

- ・ 静岡市の貴重な歴史、文化資源を有効活用し、観光振興に繋げていくためには、歴史、文化地区及び周辺における魅力ある景観を保全、創出していくための無電柱化整備を推進していくことが必要です。
- ・ また、本市の顔となる鉄道駅周辺等の拠点地区や歴史地区では、地域活力向上に向け、魅力ある景観創出が必要です。

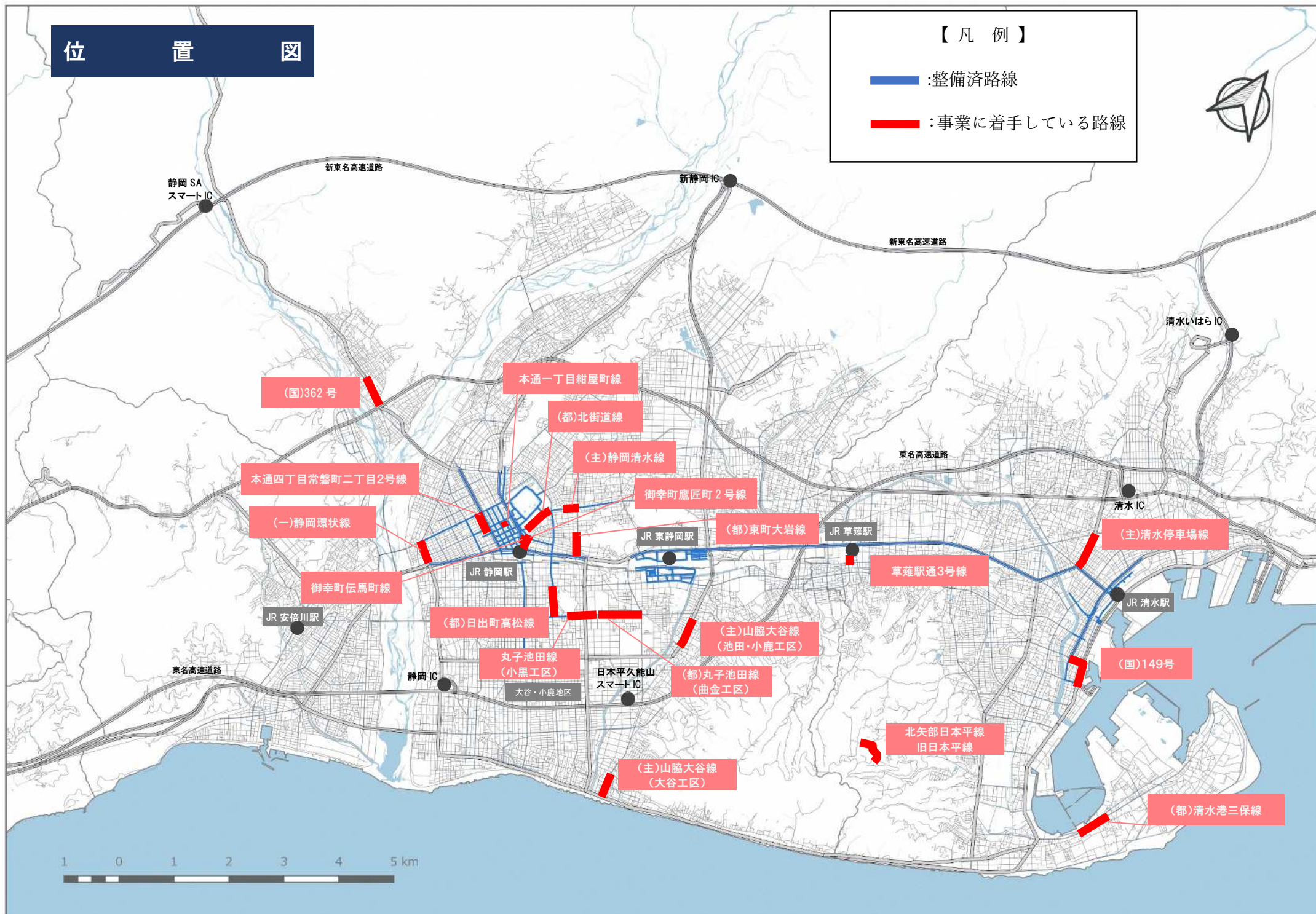
【整備箇所のイメージ】

- ① 豊かな自然環境を形成されている地区における無電柱化整備を実施します。
- ② 歴史的なまち並みが形成されている地区における無電柱化整備を実施します。
- ③ 本市の顔となる拠点地区における無電柱化整備を実施します。



静岡市無電柱化推進計画

～事業に着手している路線～



主な事業路線の概要

(市) 御幸町鷹匠町2号線



本路線は、バリアフリー重点整備区域に位置し、JR静岡駅と新静岡駅を結ぶバリアフリー特定道路です。

また、中心市街地であって、沿道に大型商業施設が立地し、多くの人が訪れる場所です。

安全・安心な歩行環境の形成や、魅力ある景観の創出が求められる道路です。

(主) 山脇大谷線 (大谷工区)



本路線は、市内を南北に縦断する主要幹線道路であり、大規模災害時の救援等に活用される重要な道路です。

また隣接する大谷・小鹿地区では、スマートIC設置を契機として、新たなまちづくりが進められています。

防災機能の強化や安全・安心な歩行環境の形成が求められる道路です。

(国) 149号



本路線は清水港へのアクセス道路で、緊急輸送路に指定された防災上重要な道路です。

また、隣接する「日の出地区」は景観重点地区に指定されているほか、海洋文化拠点の整備を進めています。

防災機能の向上に加え、歩行環境改善や景観の向上が求められる道路です。